

症例から学ぶ

腹痛が持続した横川吸虫症の1例

折本 瑞恵 早川 潤 藤野 修 福永 慶隆

日本医科大学小児科学教室

A 11-Year-Old Girl with Metagonimus Yokogawai Infection and Prolonged Abdominal Pain

Mizue Orimoto, Jun Hayakawa, Osamu Fujino and Yoshitaka Fukunaga

Department of Pediatrics, Nippon Medical School

はじめに

日本において、寄生虫は激減ないし消滅したという認識があるが、近年食生活そして嗜好の多様化により寄生虫の感染が増加している。しかし、社会および医療関係者における寄生虫に対する関心はあまり高くない。今回、腹痛が持続する患児およびその家族の便中より、横川吸虫卵が検出された1例を経験したので報告する。

【症例】

11歳の女児。

主訴：発熱，腹痛。

現病歴：平成12年6月16日から発熱，ときに心窩部から下腹部にかけて痛みを認めた。近医にて加療を受けたが，症状が改善しないため，24日に当科紹介受診となった。その後も不明熱，腹痛が続くため，7月4日に精査および加療の目的で入院した。

既往歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

入院時現症：体温37.0，血圧94/54 mmHg，脈拍86/分。下腹部を中心に圧痛を認めたほかは特記すべき所見は認めなかった。

入院時検査所見：末梢血で，白血球7,500/ μ lで，好酸球は3.5% (260/ μ l)と正常範囲を示していた。血液生化学検査で異常値は認めず，抗核抗体，補体系とも陽性所見はなかった。胸部および腹部レントゲン写真，腹部CT，上部消化管内視鏡検査，Gaシンチグラフィに異常所見は認めなかった。

入院後経過：入院後すぐに解熱したが，心窩部から下腹部にかけての痛みはその後遷延した。そのため便培養，便潜血，便虫卵検査を行った。便培養では腸管常在菌のみ検出され，便潜血は陰性であったが，

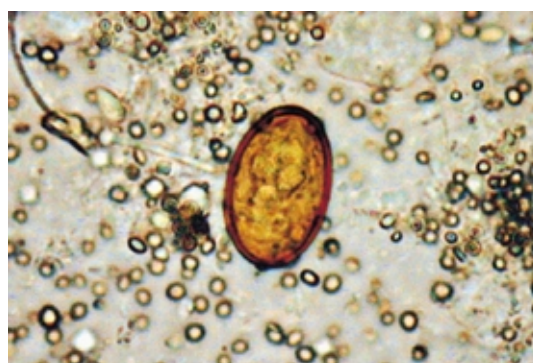


写真1 患児より検出された横川吸虫卵

便虫卵検査において，横川吸虫卵が検出された（写真1）。以上より，患児は横川吸虫症と診断した。

駆虫のため praziquantel (Biltricide® 20 mg/kg/回，4回)内服を開始し，内服4日後より腹痛は軽快，20日後には便虫卵の陰性化を確認した。なお，家族（祖父，父親，弟）からも横川吸虫卵が検出されたが，無症状であった。家族も駆虫剤を内服して，虫卵の陰性化を確認した。

考案

日本では寄生虫は減少あるいは消滅したという認識がある。日本は魚類等を生食するにもかかわらず，寄生虫感染症が先進諸国の中で最も少ないと言われている¹。確かに土壌伝播寄生虫は減少あるいは消滅しているが，魚類の生食に伴う寄生虫症は現在でもかなりの頻度で認められることが再確認されている¹。人間ドックの受診者に寄生虫虫卵検査を行うと，虫卵陽性率は年々増加を続けているという報告がある¹²。なかでも検出された虫卵の種類としては横川吸虫が56%

表1 ヒト寄生虫虫卵の種類と頻度 (文献2より引用)

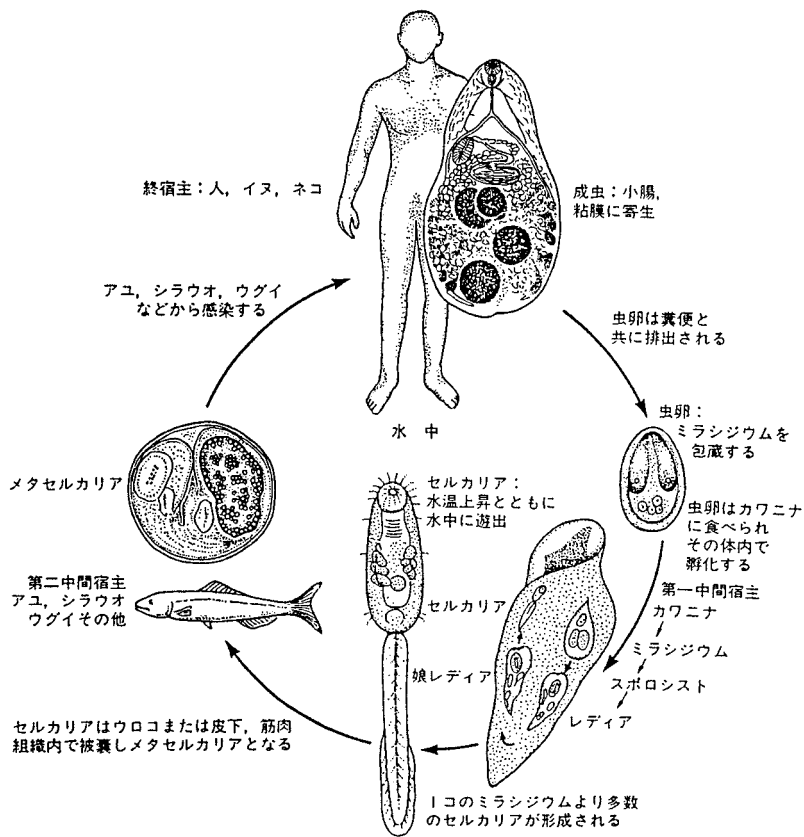
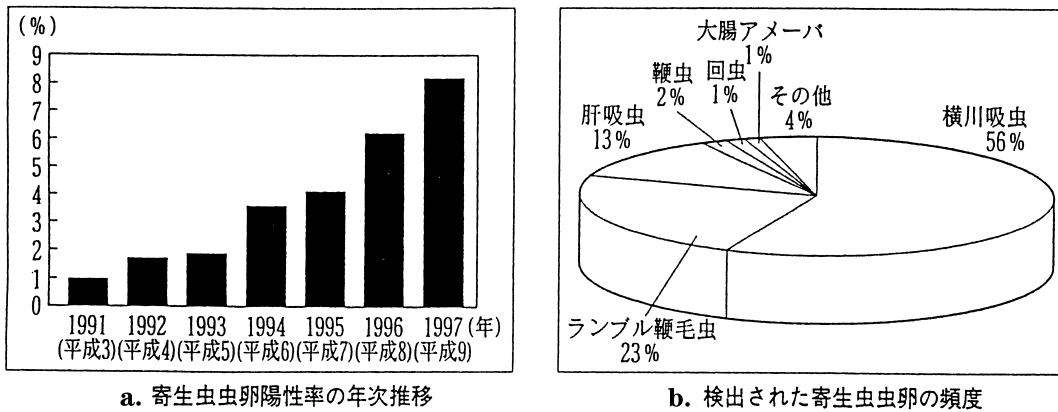


表2 横川吸虫駆虫剤

	投与量	駆虫効果
1. kamala	3~5 g (頓服)	30%
2. bithionol	30 mg/kg/day (隔日5回服用)	50%
3. praziquantel	20~40 mg/kg/day (1~3日間服用)	90%以上

と最も高頻度であった²³ (表1)。

横川吸虫症は、わが国では広く一般的にみられる消化管寄生虫症で、アユ、シラウオ、ウグイなどの川魚を生食することにより感染する⁴。横川吸虫のセルカリアは第二中間宿主であるこれらの川魚の鱗片、皮下組織、筋肉などに付着し、メタセルカリアとなった後、ヒトがこれを経口摂取することにより感染し、腸管内の絨毛間で成虫となる (図1)。

横川吸虫は少数寄生の場合、ほとんど無症状だが、度重なる感染によって寄生数が増えると、小腸粘膜にカタル症状を起し、腹痛、下痢、食欲不振、体重減少等の消化器症状を呈する⁴。今回の症例においても、患児は症状が出現する1カ月前に家庭でシラウオを生食していた。患児はシラウオの嗜好があり、それ以前にもよく家庭でシラウオを生食していたため、感染が度重なって症状が出現したと考えられる。なお、同時にシラウオを生食した家族は無症状であったが、便中より虫卵が検出された。横川吸虫症による症状の出現は、寄生した吸虫の数によって左右されるため、感染していても多くの場合は、無症状で偶然に虫卵が見つかることが多い。

横川吸虫症の軽症例では、放置していても1年後には陰性化するとされている。久次米らは、無症状の虫卵陽性者に対し、薬剤での駆虫を行わなくとも自然経過で約7割の患者で陰性化が見られたと報告している⁶。横川吸虫症の治療は、駆虫剤として、kamala, bithionol, praziquantelの3種類が挙げられる。駆虫効果は、kamalaが30%^{7,8}、bithionolが50%、praziquantelが90%以上⁸で、praziquantelの有効性が確認されている(表2)。praziquantelの副作用として、頭痛、倦怠感、嘔気、下痢が報告されているが⁷、本症例ではそのような副作用を認めることなく駆虫された。

メタセルカリアは、川魚の鱗の下に潜んでいることもあるため⁴、川魚を生食した場合、あるいは魚釣り

などで川魚に接触した場合にも感染の契機となりうる。アユやシラウオの生息する河川や湖沼地帯の住民に横川吸虫感染者が多いこと⁵もこれを反映していると考えられる。また、横川吸虫の保虫宿主としてイヌやネコもあり、最近のペットブームも寄生虫感染者が増加している一因と考えられる。

近年、食生活の多様化によりアユ、シラウオなどの生食の機会が増えている。生食の好みがあり、腹痛などの消化器症状が持続する場合には、食事・嗜好歴の聴取を行い、虫卵検査が必要であると考えられた。

診断のポイント：腹痛などの消化器症状が遷延する時には、食事・嗜好歴の詳細な聴取を行うとともに、諸検査の中で便虫卵検査も施行することが必要である。

文 献

1. 天野皓昭：最近の日本の寄生虫症感染の状況。総合臨床 2001; 50: 623-624.
2. 山門 実：再び増加傾向の寄生虫病。治療 1998; 80: 136-137.
3. 藤田紘一郎：横川吸虫・肺吸虫。臨床検査 2000; 44: 350-351.
4. 川島哲也，関谷千尋，高後 裕：横川吸虫症。日本臨床領域別症候群 1999; 24: 493-495.
5. 横川宗雄：横川吸虫症。公衆衛生 1984; 48: 828-831.
6. 久次米佐映，安達由佳，小路純子，他：当院における横川吸虫の虫卵陽性率。四国医学雑誌 2000; 56: 197-198.
7. 市来能成，田中哲夫，小緑英行，他：著明な体重減少をきたした横川吸虫症の1例。宮崎医会誌 1990; 14: 121-124.
8. Ichiki Y, Tanaka T, Haraguchi Y: A case of severe Metagonimiasis with abdominal symptoms. Jpn J Parasitol 1990; 39: 72-74.

(受付：2001年11月2日)

(受理：2001年11月13日)